

- ② 講義 「地域社会と青年の役割」
 福島県教育庁社会教育課主幹
 神野藤 忠 吉
- ③ シンポジウム 「青年学級の組織・運営・活動について」
 須賀川市中央公民館係長
 関 根 隆 男
 保原町中央公民館事業係長
 松 本 洋 二
 浪江町浪江公民館主査 上 田 善 郎

- ④ 研究協議
 ア 分散会協議
 主題「主体的に青年学級を運営するには、どうしたらよいか」
- イ 報 告
 ㊦ 福島県研究青年学級中間報告
 ㊧ 福島県青年国内研修報告
 ㊨ 全国青年学級生大会参加報告

- (6) 全国青年学級生大会派遣
 ① 期 日 昭和55年9月20日～23日
 ② 会 場 国立大洲青年の家
 ③ 参加者 青年学級・教室生7名、引率者1名
 ④ 研究協議主題
 「楽しく豊かな学習をすすめるために」

第3節 成人教育

1 概 要

生涯教育の重要性が認識されるなかで、増大する成人の学習意欲にこたえるため、成人学級・成人学校・成人大学講座・婦人学級・高齢者教室の開設促進とその充実を図ってきた。

特に、成人男子に対する学習援助は困難な領域であるが、成人教育研究協議会においてそのあり方について研究協議を行うとともに社会通信教育等個人学習の拡充につとめた。

さらに、高齢者の学習機会拡充のため、高齢者教室や高齢者人材活用事業の拡充を図るとともに県内7会場で高齢者教育指導者研修会を実施し、指導者の資質向上につとめた。

婦人教育については、婦人学級・婦人講座の開設促進につとめた。また、民間婦人教育指導者の資質向上と養成確保を図るため、婦人教育指導者研修会を実施した。

P T A及び婦人団体等成人団体の育成に当たっては、P T A指導者研修会(12会場)、婦人団体後継者養成研修会を実施し、団体の民主的な運営と当面する課題に対応する活動の助長につとめるとともに指導者の資質向上を図った。

2 P T A指導者研修会

- (1) 趣 旨
 P T A本来の目的である青少年の健全育成を図るため、P T Aの指導者を対象に、組織的な学習や地域活動のあり方について研修し、P T Aの健全な活動の促進に資することを目的とする。

- (2) 期日・会場・参加者
 (小・中学校P T A)
- | | | |
|--------------|--------------------------|------|
| 7月8日・9日 | 霊山町公民館 | 175名 |
| 7月10日・8月27日 | 郡山市中央公民館 | 203名 |
| 8月31日・9月1日 | 鮫川村山村開発センター | 87名 |
| 7月30日・31日 | 猪苗代町立猪苗代中学校 | 115名 |
| 8月5日・6日 | 下郷町立檜原小学校 | 129名 |
| 6月18日・11月10日 | 相馬市公民館、
飯館村生活改善センター | 140名 |
| 8月3日・10月26日 | いわき市立三和中学校
いわき市立沢渡小学校 | 150名 |
- (高等学校)
- | | | |
|------------|-------------|------|
| 11月11日・12日 | 保原町中央公民館 | 106名 |
| 7月31日・8月1日 | 須賀川市中央公民館 | 129名 |
| 9月18日・19日 | 会津若松市文化センター | 123名 |
| 10月2日・3日 | 富岡町文化センター | 89名 |
| 11月18日・19日 | いわき市常磐公民館 | 115名 |

- (3) 講 師
- | | |
|---------------|---------|
| 福島大学教育学部教授 | 徳 田 安 俊 |
| 元県社会教育課長 | 丹 野 清 栄 |
| 福島大学教育学部教授 | 佐 藤 俊 雄 |
| 元福島市立第四小学校長 | 沼 崎 忠 藏 |
| 福島市立第三中学校長 | 永 澤 電四郎 |
| 前富岡町立富岡第一小学校長 | 松 本 迪 男 |
| 元いわき市立高坂小学校長 | 吉 田 徳 治 |
| 桜が丘病院副院長 | 丁 字 邦 男 |
| 福島少年鑑別所長 | 砂 山 延 雄 |
| 福島家裁若松支部主任調査官 | 佐 藤 文 夫 |
| 富岡町立富岡第一中学校長 | 石 井 六 郎 |
| いわき少年鑑別支所長 | 渡 部 健 夫 |

- (4) 助 言 者
 県教育庁社会教育主事、指導主事、小・中・高校長、同教頭、市町村教育委員会社会教育担当者、連合P T A役員

- (5) 研究協議内容
 ① 研究主題
 「社会の変化に即応したP T A活動はどのようにあればよいか」
- ② 研修内容・方法
 ア 講義、分散討議、シンポジウム・フォーラム
 (ア) P T Aにおける組織・財務・広報活動はどうあればよいか。
 (イ) P T Aにおける地域活動(実践活動)はどうあればよいか。
 (ウ) P T A活動を効果的に進めるための運営を身につけよう。
 (エ) 青少年健全育成のための地域教育環境づくりはどうあればよいか。

- イ 講 演
 「心豊かな子どもを育てるための家庭の役割」